

# チューリップの栽培暦

栽培のポイントをおさえて、  
きれいなチューリップを  
咲かせましょう!!



秋 ~Autumn~

冬 ~Winter~

春 ~Spring~

夏 ~Summer~

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

植付後は、発根を促進し、  
根張りを良くするため、  
たっぷり水やりしましょう。



ビオラなど  
花苗と植えると  
水やり忘れ  
防止になります。

## 植付は「紅葉が見ごろの時期から!」

- 10月中旬～11月頃には植付をします。遅くとも年内には植えましょう。暑い時期に植え付けると、病気にかかり易くなります。
- 日本は北から南まで細長く、また同じ県でも山間部と平野部で気温差があります。植付時期はモミジなど紅葉が見ごろの時期を目安にしてください。

## 植付後の水やりが肝心!!

- 植付後は、球根の根が伸びる大事な時期です。たっぷり水やりをしましょう。
- チューリップの根は乾燥したり、一度傷ついたりしてしまうと、水を吸わなくなり、新しい根も生えてきません。この時期に、根がうまく育たないと開花しない原因になります。

冬は寒い野外の日陰で  
栽培しましょう。



土が乾燥しない様に  
水やりは忘れずに!!

## 萌芽～開花

- 暖かくなり始めると、萌芽し、地上部が生育します。
- 葉が展開し始めたら、日の当たる所で栽培しましょう。

蕾が見えたら水やりは  
株元にしましょう!!



- チューリップはお水が大好き。土が乾かないようにたっぷりとお水をあげましょう。



## 花摘み作業

- 開花を充分に楽しんだ後は葉っぱを全て残り、花の下で茎を折りましょう。花摘みは花が散る前にやりましょう。大きな球根を収穫するポイントです。

- 散った花弁は、病気の原因となりますので鉢などに残さず、拾って処分しましょう。

花摘みは  
花のつけおを  
手で折ります。



花が終わった後の  
肥料は禁物!!

茎や葉が黄色く  
枯れ上がったら  
掘取をしましょう。



掘取後は風通しの  
良い日陰で  
保管をしましょう。



## 掘取・球根保管

- 6月頃には地上部が黄色く枯れ上がります。掘取のサインです。試し掘りをして、球根の皮が茶色くなり始めていたら掘取をしましょう。
- ドロを落とし、ネットなどにいれ、風通しの良い、日かげの涼しい場所で、次回の植付まで保管をしましょう。

冬場の水管理がポイント!! チューリップは大水飲み!!